

数字で見る図書館の一年

H23年度図書館事業実施概要から

1. 利用状況

(1) 貸出

H23年度 月別個人貸出冊数（全館）

4月	154,247
5月	157,227
6月	140,483
7月	176,239
8月	169,604
9月	153,989
10月	162,503
11月	158,954
12月	149,746
1月	150,670
2月	149,491
3月	165,533
計	1,888,686

表①

個人貸出冊数 1,888,686 冊

市民1人あたり 4.5 冊（人口 416,223 人）

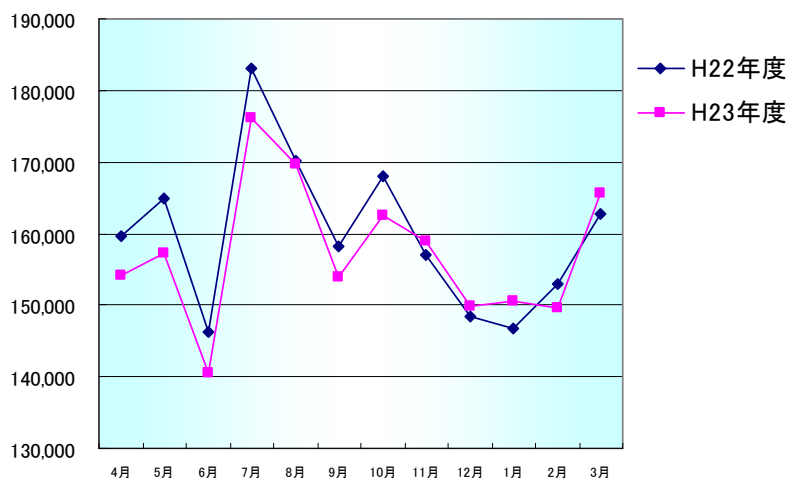
一日平均貸出冊数 6,093 冊

（平均開館日数 310 日）

平成23年度は、個人貸出冊数が22年度と比較して29,372冊減（前年比-1.5%）となりました。表①は、平成23年度の月別の個人貸出冊数（全館）、グラフ①は、その月別の個人貸出冊数を平成22年度と23年度で比較したものです。

グラフ①

H23年/H22年 月別個人貸出冊数比較



一年を通してみると、6月は、本館と富山地区の分館で蔵書点検を実施するため休館日が多くなり、貸出冊数が最も少ない月となっています。また、貸出冊数が多いのは、7・8月です。

平成23年度は、特別予算として「住民生活に光を注ぐ交付金」をもとに、主に全館の児童書の更新を図りました。

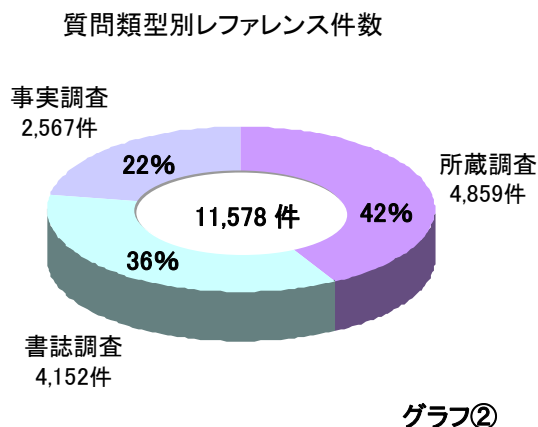
その効果は、本館青少年図書室の個人貸出冊数が195,322冊（前年比+9.1%）となるなど、貸出の面でも表れているといえます。

(2) レファレンス件数

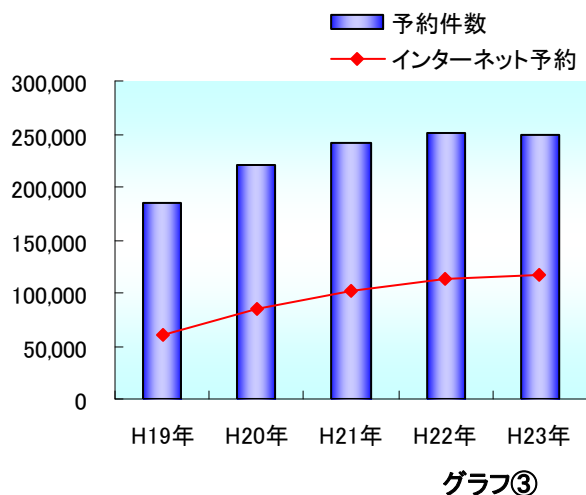
平成 23 年度のレファレンス件数は 11,578 件で、質問類型別にみると、グラフ②のようになります。

レファレンス質問は、①所蔵調査(特定の資料の所蔵、所在の調査)、②書誌調査(特定のテーマに関する図書や雑誌の調査)、③事実調査(特定事項を記載した資料や記載箇所を調査)に分類されます。

平成 23 年 4 月から、レファレンス質問をデータベースに記録しています。近い将来には、これをもとに、レファレンス・データベースの構築を目指しています。



(3) 予約件数



平成 23 年度の予約件数は 249,571 件で、うち、インターネットからの予約件数は 117,020 件でした。これは、全体の約 47%にあたります。

グラフ③は平成 19 年からの予約件数の推移を示したのですが、その中でもインターネットからの予約件数は年々増加しています。自宅のインターネットから当館のホームページを通じて図書を予約し、予約図書が受取館に用意できたことをメールで通知されるインターネット予約のシステムが、浸透してきているといえるでしょう。

2. 読書普及活動

富山市立図書館では、多くの読書普及活動を行っていますが、そのなかの一部をご紹介します。

(1) 学校・幼稚園・保育所で

①学校訪問

小学校 1・2 年生を対象に、富山市内の 52 校の各教室に図書館司書が向向き、ブックトークやストーリーテリングを実施しています。平成 23 年度は 189 学級、5204 人の児童が参加しました。

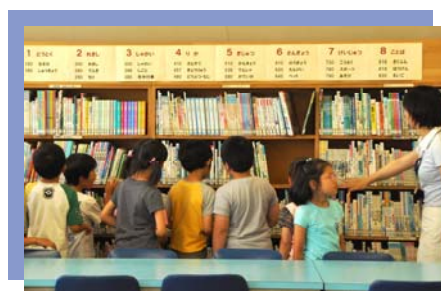
②学級招待

クラスごとに図書館へ来て、施設の見学や、図書館の利用の仕方を学びます。小学校 2 年生を対象に、平成 23 年度は 29 校、74 学級が参加

しました。

③おはなしワールド

子ども読書の日(4月23日)に司書とボランティアが市内の保育所・幼稚園を訪ねて、おはなしの世界の楽しさを伝えています。平成 23 年度は 22 会場、1,065 人が大型絵本や紙芝居などを取り入れたプログラムに参加しました。



芝園小学校 2 年生の学級招待の様子

(2) 高齢者読書支援

自動車文庫(移動図書館)の司書が、巡回先の高齢者施設で、入居している方を対象に読み聞かせや紙芝居などを実施しています。簡単なゲームや手遊びなども交えての楽しいひときは、これまで自動車文庫を利用していなかった方にも、本への関心を持っていただけたようです。行事の終了後には、興味深そうに自動車文庫の中を見たり、初めて本を借りる方の姿も見受けられます。高齢者読書支援は、平成23年度は10回実施し、302人が参加しました。



老人保健施設「かがやき」での
高齢者読書支援の様子



音訳ボランティア養成講座 修了式の様子

(3) 音訳ボランティア養成講座

音訳ボランティアとしての活動を希望する方を対象に、音訳の技術を身につけるための講座を開催しています。講座の期間は一年間で、前期は富山県社会福祉協議会で初級講座を、後期は当館で中級講座を開講しています。

修了後には、参加者の多くが当館で活動する音訳ボランティアグループの一員となり、講座で学んだ成果を発揮しています。

(4) 子ども会・おはなし会

幼児・児童の成長に合わせて子ども会やおはなし会を開催しています。

本館青少年図書室では、「紙芝居ランド」や「おはなしポケット」、工作も楽しめる子ども会などの行事を、読み聞かせボランティアグループと協働で実施しています。

地域館や分館では、2歳から3歳児対象の読み聞かせを行う「母と子のおはなし会」や、定例の子ども会を開催しています。そのほか、「夏休み子ども会」や「冬休みおはなし会」など、季節ごとの特色ある行事も実施しています。(本館 沖)

本館でのおはなし子ども会の様子

H23年度 子ども会・おはなし会 開催実績

	行事名	回数	参加人数
本館	おはなしポケット	48回	1,633人
	こども会 (未就学児版)	11回	187人
	子ども会 (小学生版)	2回	117人
	紙芝居ランド	226回	2,497人
分館・地域館	定例子ども会	320回	3,380人
	母と子のおはなし会	94回	722人



おおきなおはなしポケットでのワークショップ

※「みんなに本を地域に図書館を 図書館事業実施概要」は、当館ホームページより、「運営情報・方針」で最新版を公開しています。なお、本館参考図書室にも冊子版を所蔵しています。

新・呉羽分館がオープンしました

呉羽会館前景



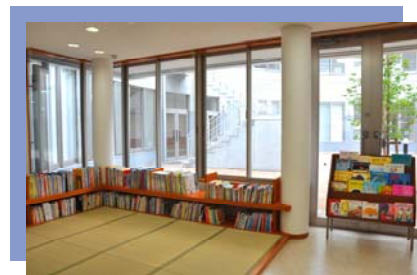
呉羽分館内

平成24年5月15日（火）、新・呉羽分館が開館しました。呉羽分館はこれまで旧・呉羽会館の別館にありましたが、今回、同じ敷地内に改築した呉羽会館の1階に移設しました。

新・呉羽会館の中には、呉羽地区センターや呉羽公民館、ミニ児童館やホールなどがあります。広い駐車場があり、中庭を囲むようにして各施設が配置されているユニークな建物です。

図書館を含めた会館内は、白い壁で統一されていて明るく、木製のベンチが各所に置かれ、市民の憩いの場として多くの方に利用してもらえるよう工夫した造りとなっています。

また、館内には、ゆったり座ることのできる閲覧席や、くつろいで絵本を読むことのできる畳のコーナーがあり、ゆっくと本を楽しめるようになっています。



読み聞かせコーナー



明るい光が射しこむ館内

図書館内は、中庭を臨む大きな窓から光がふんだんに射しこみ、明るく、開放的な空間です。また、窓に沿って配置された子ども向けの低書架をはじめとして、書架や棚は木製で統一され、温かみのある雰囲気となっています。

来館者の方からは、「明るくなった」「利用しやすくなった」という声が多く聞かれます。

蔵書冊数は約13,000冊で、小説や実用書、児童書など様々な本があります。開館を機に、新しい本もたくさん揃えていますので、皆さまのご来館をお待ちしております。

（呉羽分館 尾屋）

（周辺地図）

